

皆さん、こんにちは。三月十一日、三陸海岸沖で日本の観測史上最大の地震が発生しました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、亡くなつた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、現地で救助・救援・復旧・復興に当たつている関係者の皆さんのご活動に心から敬意を表します。

被災者の生活再建、被災地の復興を果たすためには、全ての国民の皆さんのご協力が必要です。日本人の絆(きずな)、日本社会の底力を發揮する局面です。被災地以外の地域の皆さんにも、被災者の皆さんのが窮状、被災地の惨状に思いを致し、であります。

耕平さんかわら版 平成23年(2011年)3月 弘法さんの日(21日) 第105号

は厚生労働副大臣室で会議中でした。「地震だね」と言つて様子を見ていたら、揺れはドンドン大きくなり、しかもあまりに長く続くので、思わず全員でテーブルの下に潜りました。

自分が体験した中で、最も激しい地震でした。東京から、震源地近くの状況は想像を絶します。揺れの大きさから「これは大変なことになつた」と思っていたら、続々とニュースが流れ始め、以後の会議は中止。以来、ずっと震災対応が続いています。当然、役所に泊り込む日もあります。

まずは、被災者の皆さんのが当面の生活拠点を確保し、毎日の生活を軌道に乗せることが喫緊の課

題です。その後は、全国の皆さんからのご厚情、義援金、物資のご寄付などが必要になります。

また、避難所や仮設住宅地域でのボランティアも必要です。今こそ、国民の皆さんがあらゆる支援を行うことが求められています。

僕の両親は戦争世代でそう感じます。既に他界していますが、先輩世代は戦中戦後の困難を結束して乗り切りました。

今回の大地震。被災者や経済・社会が直面する困難は、その当時に匹敵する規模と甚大さと想定されます。国民の皆さん

# 耕平さんかわら版

発行編集部  
大塚耕平事務所  
☎052-757-1955  
Kouhei@oh-kouhei.org



## かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭ヶ丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元覚王山に事務所を開き、故郷覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ10年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

鳩山内閣、第1次菅内閣で内閣府副大臣を務める。2011年1月、菅改造内閣の厚生労働副大臣に就任。

今こそ、国民の皆さんが立ち向かいましょう！僕も全力で困難に立ち向かいます！



毎月21日、覚王山日泰寺は

# 「弘法さん」

「かわら版配り」ボランティア募集！

21日の8:40~10:30頃山門へおいでください。  
お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(墨田/佐久間)